



# ごみ減量の取組みについて



“ストックモンスター”  
家庭からの食品ロス削減キャラクター

## 家庭ごみの主な減量施策

1. 地域集団回収の支援
2. 単身世帯マンション古紙回収事業
3. 雑がみ回収の強化
4. 食品ロス削減
5. 周知・啓発事業



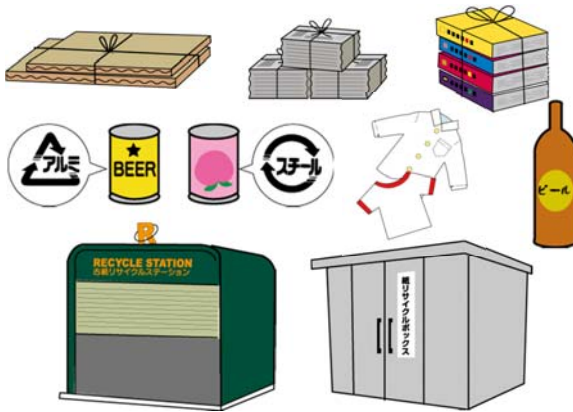
# 1 地域集団回収等の支援

## 減量 施策 01

### 地域集団回収等の支援

- 新聞発行部数の減少等により、回収量は減少傾向だが、実施回数や団体数は横ばいで活動は維持されている。

地域団体へ回収量に応じた報奨金を交付  
(回収量 1kgあたり5円)  
対象品目:  
古紙・空き缶・リターナブルびん・布類



|          | H27   | H28   | H29   |
|----------|-------|-------|-------|
| 回収団体数    | 1,971 | 1,969 | 1,976 |
| 回収量(千トン) | 約41   | 約39   | 約36   |
| 回収拠点数    | 507   | 503   | 500   |

#### 【回収量増加に向けた取り組み】

- ・新築の分譲マンションに対し、集団回収実施について働きかけ
- ・古紙を出す際の手間を軽減した方法の検討

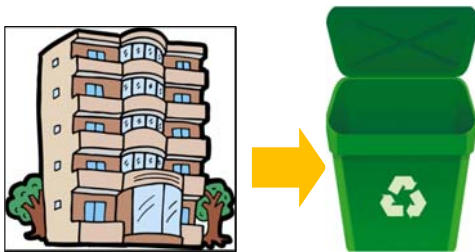
# 2 単身世帯マンション古紙回収事業

## 減量 施策 02

### 拠点での資源物回収

#### ～単身世帯向けマンションでの古紙回収強化～

- 戸建てや複数世帯に比べて紙類の排出割合が多い単身向け共同住宅に古紙回収の仕組みを導入し、リサイクルを促進。



#### 単身世帯マンションの特徴

- ・古紙、特に雑誌や広告が多い
- ・転出入が多く、地域との関係が構築しにくい

⇒マンション内に回収ボックスを設置したり、段ボール等の排出場所を設け、古紙回収業者が回収

#### <回収実績>

| 年度      | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|---------|------|------|------|
| 実施棟数    | 4    | 30   | 45   |
| 回収量(トン) | 4.7  | 5.9  | 15.3 |

**H30年度の回収量  
目標20トン  
(8月末現在55棟で実施)**

#### 【回収量増加に向けた取り組み】

- ・実施中のマンションに対しては、チラシ掲示などによる住民への啓発を行い、1棟あたりの回収量を増加させる。
- ・新たな管理会社に実施中マンションの成功事例を紹介し、積極的に働きかける。

### 3 雑がみ回収の強化

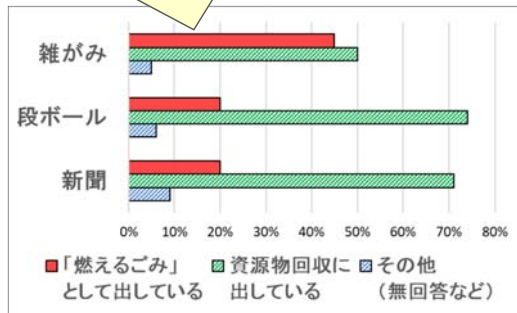
#### 減量 施策 03

拠点での資源物回収  
～雑がみ回収の強化！～

新規

■新聞、段ボールに比べて回収が進んでいない雑誌や包装紙などの雑がみについて、講座等を通じて雑がみの種類や出し方の周知を行い、さらに9月からは『雑がみ回収専用袋』を配布し、リサイクルを促進。

雑がみの約半分が燃えるごみとして出されている



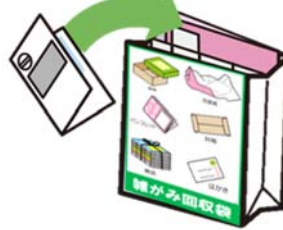
(平成28年度市民アンケート調査結果)

<対象>

雑がみの種類や出し方を知らない市民

出前講座やチラシ配布等での周知・啓発

公共施設や地域の回収拠点の利用者へ  
『雑がみ回収専用袋』を配布



H30年度  
85,000枚  
配布予定!!

リサイクル  
促進

### 4 食品ロス削減

#### 減量 施策 04

3R推進事業  
～夏休み親子3R体験ツアーを開催！～

新規

■福岡市での食品ロスの発生状況や家庭でできる対策等について学ぶとともに、実際に食材を無駄にしない買い物の仕方や食材を使い切るエコクッキングを親子で体験する「夏休み親子3R体験ツアー」を実施した。

福岡市の家庭から出る生ごみの状況

- ★福岡市の家庭から出る燃えるごみの約3割が生ごみ
- ★生ごみのうち、約1割が食品ロスの原因の一つである **手つかずのまま捨てられている食品**



福岡市で実際に捨てられていた食品

親子体験教室の開催



エコクッキング



食材を無駄にしない方法を考える

<参加者の感想>

- ・冷蔵庫がいつもいっぱいだったので、非常にためになった。
- ・「安いから」と買いすぎないように気をつけたい。
- ・3Rについてとてもよく知れてよかった。

食品ロスの現状について周知し、実践につながる方法について引き続き啓発を行う。

## 減量 施策 05

### 周知・啓発事業

■ 広報物の作成や、3Rステーション、出前講座などで市民の3Rの意識の啓発を図っている。

#### ・広報の推進



LINEによるごみ分別案内



食品ロス削減  
啓発リーフレット  
5,000部作成、配布



家庭ごみルールブック  
(日・英・中・韓の4言語)

#### ・3Rステーション(リサイクルプラザ)

臨海3Rステーション・西部3Rステーションでの講座、リユース事業等

#### 新規

#### ・出前講座

平成30年度から新たに食品ロス削減について学ぶ講座「教えて！食品ロス」を追加  
※8月末現在で17団体 650名から申込み



## 事業系ごみの主な減量施策

1. 事業系古紙の資源化の強化
2. その他、古紙減量策
3. 食品ロスの削減
4. 食品廃棄物の資源化



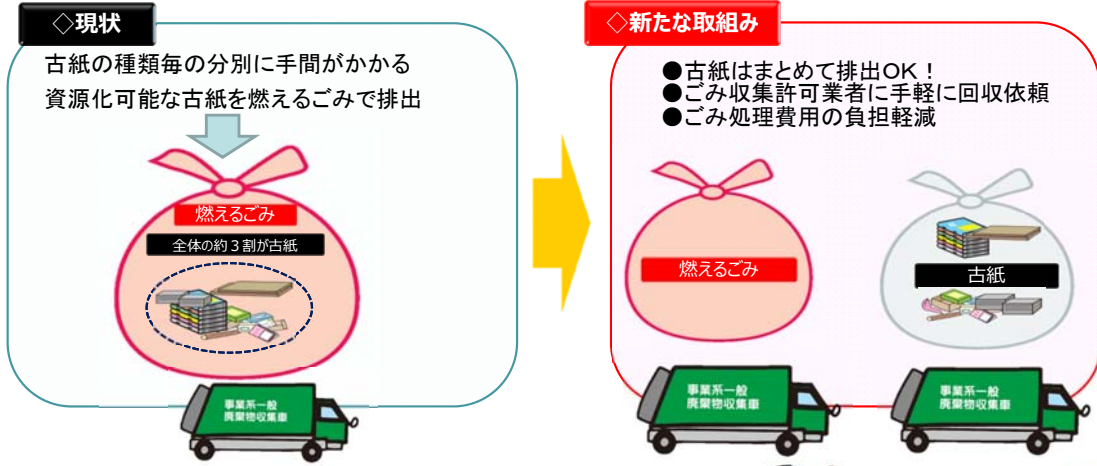
# 1 事業系古紙の資源化の強化

## 減量 施策 01

### 事業系ごみ資源回収推進事業 ～事業系古紙の資源化を強化！～

新規

■ ごみ収集許可業者のごみ収集ルートを活用して、リサイクルされていない事業系古紙を回収し、事業系ごみの減量を推進します。



新たな取組みを排出事業者へ周知・啓発

- 事業系ごみルールブックを改訂し、市内全事業所(約7万事業所)へ配布
- 立入指導等による排出事業者への周知・啓発及び業界団体への働きかけ



# 2 その他、古紙減量施策

## 減量 施策 02

### 事業系ごみ資源化情報発信サイト



○事業系ごみの資源化に関する情報発信

○小規模事業者と古紙回収業者のマッチング

○マッチング申し込み件数  
H29年度：80件(うち成約18件)  
(回収推計量約1,000kg)  
H30年7月末現在：40件(うち成約5件)

### 事業系一般廃棄物の分別

特定事業用建築物(延床面積1,000㎡超の建物)

○廃棄物減量等推進責任者の選任

○廃棄物の減量等に関する計画書+立入検査・適正排出指導

○特定事業用建築物：4,853棟(H29年度末現在)  
H29年度 立入検査・適正排出指導：266件  
(参考)事業所ごみ減量再資源化指導(特定事業用建築物含む)  
H29年度：1,647件



目標指導件数：1,900件(H30年度)

### 3 食品ロスの削減

#### 減量 施策 03

## もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動

### 福岡エコ3項目



福岡エコ運動啓発キャラクター  
宴会部長 **完食 一徹**



■ 飲食店や宿泊施設での食べ残しをなくし食品ロス削減を目指す。

- 福岡エコ運動協力店紹介パンフレットを作成し、市内約11,000事業所へ配付
- 運動の市民認知度(市政アンケート結果)  
H28年度 約23.8%⇒H29年度 約46.3%
- 福岡エコ運動協力店に登録したことによる食べ残しの削減効果について(協力店へのアンケート結果)  
【効果があった】 H28年度:約15.2% ⇒ H29年度 約59.5%
- 引き続き福岡エコ運動協力店の拡充に向け取り組んでいく。  
福岡エコ運動協力店登録数 約330店舗 (H30年7月末現在)



国民一人当たり  
1日お茶碗一杯分の  
食べものが捨て  
られている！

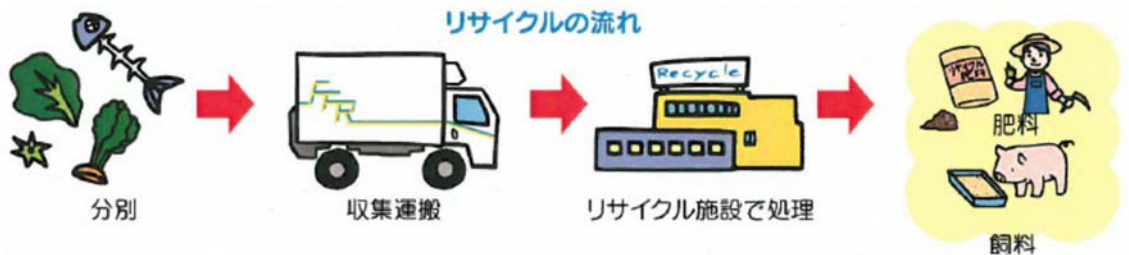


目標登録数：400店舗（H32年度）

### 4 食品廃棄物の資源化

#### 減量 施策 04

## 食品廃棄物の資源化の推進



#### 事業内容

食品リサイクル施設への誘導を進めるなど食品廃棄物のリサイクルを推進する。

#### 進捗状況

H28年度リサイクル量  
**6,537トン**



H29年度リサイクル量  
**7,087トン**  
(※速報値)

#### 今後の予定

リサイクル量の増加に向けて  
引き続き周知啓発を継続していく。

- ・立入指導等による排出事業者への周知・啓発を継続実施(多量排出者への周知啓発を実施)